

旧法吉小学校及び法吉村について（「法吉校誌抄」、「旧法吉小沿革誌」他より抜粋）

- 明治 6年12月15日 第4学区第18中学校区第26番黒田小学校竜雲寺に開設
- 明治12年 2月 教育令により大中小学区制廃止
- 明治19年 小学校令制定 尋常小学校4年が義務教育となる
- 明治21年 4月 市制・町村制公布
- 明治22年 4月 市制・町村制施行
島根県島根郡の春日、奥谷、法吉、比津、黒田、末次、国屋の7村が合併し、
法吉村となる（役場は春日に置かれる）
- 明治25年 新小学校令実施に伴い、島根県島根郡法吉村尋常小学校と改称
同年 大字春日（S46現在の校舎位置）に校舎新築移転
- 明治29年 島根郡、秋鹿郡、意宇郡の3郡を廃し八束郡となることに伴い、
八束郡法吉村（当時面積、人口等郡下最小の村であった）となり、
島根県八束郡法吉村尋常小学校と改称
- 明治37年 4月 高等科併設により、島根県八束郡法吉村尋常高等小学校と改称
- 明治40年 第1期校舎増築
- 明治43年 第2期校舎増築
- 大正 4年末 小学校職員 正教員 男3名、女1名 学校医1名
児童 高等 男 36人 女 3人 計 39人
尋常 男 72人 女64人 計136人
合計 男108人 女67人 計175人
不就学児童なし
貧困児童救助人員 3名 （以上、八束郡法吉村勢要項より）
- 大正 6年 6月 法吉村実業補習学校を附設
（※実業補習学校：旧学制下で、高等小学校、中学校、高等女学校などの
中等教育に進学しない義務教育修了者で、勤労に従事する青少年を対象に
実業教育を実施していた学校）
- 大正13年 開校50年記念行事挙行
- 大正15年 法吉村青年訓練所併置
- 昭和 4年 1月 新校舎落成
- 昭和12年 6月 法吉村尋常高等小学校校歌制定
- 昭和16年 4月 国民学校令により八束郡法吉村国民学校と改称
同年 同月 法吉村教育振興会結成
同年 法吉村国民学校校歌制定
- 昭和17年 校庭（運動場）造成 校内放送施設整う
- 昭和21年 8月 出火のため校舎全焼 隣接する法吉村役場も類焼し、公文書の殆どを焼失
- 昭和22年 4月 教育基本法（5/3施行）、学校教育法制定により、
島根県八束郡法吉村立法吉小学校と改称
同年11月 法吉小学校PTA結成
- 昭和23年 3月 校舎落成
同年10月 法吉村と松江市の合併により、島根県松江市立法吉小学校と改称
法吉村は、松江市東奥谷町、法吉町、春日町、黒田町、国屋町、
比津町となる
（飛地であった末次は隣接町村に編入又は新町名となり、法吉村からは消滅）
- 昭和31年 法吉教育会結成
- 昭和38年 松江市立法吉幼稚園併置

昭和44年 4月 法吉小学校と北堀小学校統合により、松江市立城北小学校となる
昭和46年 3月 城北小学校法吉校舎閉校
昭和56年 4月 比津が丘団地の造成により、比津町（現在地）に（新設）法吉小学校開校